

科目名	母性看護学演習ⅡA Maternity Nursing SeminarⅡA			担当教員 (研究室番号)	永見 桂子 (102) 大平 肇子 (104)		教員への連絡方法 (メールアドレス)				
履修年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目	選択 区分	領域 必修	単位数 (時間)	3(45)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
到達 目標	1. 周産期における母子とその家族の健康問題をアセスメントし、プライマリケア、クリティカルケアの観点から看護方法を実践的に探究することができる。 2. 周産期母子援助に関する重要課題について関心のあるテーマを選び、研究方法を探究することができる。										
成績評価方法 (基準)	レポート(50%)、プレゼンテーション(40%)、ディスカッションへの参加状況(10%)										
教科書	必要時、紹介します。										
参考書等	必要時、紹介します。										
受講者への メッセージ	主体的・積極的な取り組みにより、自らの研究課題の探究へと発展することを期待します。										
備考											
回	学習項目				学習内容				主担当 教 員	授業 方法	
1回	オリエンテーション 学習内容・方法、到達目標の理解				科目目的、到達目標、学習内容・方法を理解する。 ・今後のスケジュール、学習方法について ・課題学習(文献・事例検討)について				永見 大平	講義	
2回	周産期における母子とその家族へのプライマリケアと緊急事態に応じた看護方法の理解①				周産期における母子とその家族へのプライマリケアと緊急事態に応じた看護方法を学び、臨床判断能力を養う。 ・周産期のプライマリケアに関する体験事例について、各種理論を活用しながら、援助方法を検討する。				大平	演習	
3回	周産期における母子とその家族へのプライマリケアと緊急事態に応じた看護方法の理解②				周産期における母子とその家族へのプライマリケアと緊急事態に応じた看護方法を学び、臨床判断能力を養う。 ・周産期のプライマリケアに関する体験事例について、各種理論を活用しながら、援助方法を検討する。				大平	演習	
4回	周産期における母子とその家族へのプライマリケアと緊急事態に応じた看護方法の理解③				周産期における母子とその家族へのプライマリケアと緊急事態に応じた看護方法を学び、臨床判断能力を養う。 ・周産期の緊急事態への対応に関する体験事例について、各種理論を活用しながら、援助方法を検討する。				永見	演習	
5回	周産期における母子とその家族へのプライマリケアと緊急事態に応じた看護方法の理解④				周産期における母子とその家族へのプライマリケアと緊急事態に応じた看護方法を学び、臨床判断能力を養う。 ・周産期の緊急事態への対応に関する体験事例について、各種理論を活用しながら、援助方法を検討する。				永見	演習	
6回	周産期における母子とその家族へのプライマリケアと緊急事態に応じた看護方法の理解⑤				周産期における母子とその家族へのプライマリケアと緊急事態に応じた看護方法を学び、臨床判断能力を養う。 ・ガイドラインの推奨例に沿って、体験事例への看護実践の適切性・有効性について考察する。				永見	演習	
7回	周産期における母子とその家族へのプライマリケアと緊急事態に応じた看護方法の理解⑥				周産期における母子とその家族へのプライマリケアと緊急事態に応じた看護方法を学び、臨床判断能力を養う。 ・ガイドラインの推奨例に沿って、体験事例への看護実践の適切性・有効性について考察する。				永見	演習	
8回	周産期における母子とその家族へのケアの実践による展開①				施設見学や看護実践場面への参加観察を通して、質の高い周産期ケア、プライマリケア、アメニティなどについて考察する。				永見 他	演習	
9回	周産期における母子とその家族へのケアの実践による展開②				施設見学や看護実践場面への参加観察を通して、質の高い周産期ケア、プライマリケア、アメニティなどについて考察する。				永見 他	演習	
10回	周産期における母子とその家族へのケアの実践による展開③				周産期ケアシステム、母子保健政策、医療制度等を踏まえ、周産期医療、新生児医療の場における対応を実践的に学び、臨床判断能力を養う。				永見 他	演習	
11回	周産期における母子とその家族へのケアの実践による展開④				周産期ケアシステム、母子保健政策、医療制度等を踏まえ、周産期医療、新生児医療の場における対応を実践的に学び、臨床判断能力を養う。				永見 他	演習	
12回	専門領域の重要課題に関する文献検討①				専門領域の文献抄読と討議を通じて、自らの研究課題の明確化を図り、看護実践の改善・充実に向けた活用方法について考察する。				永見 大平	演習	
13回	専門領域の重要課題に関する文献検討②				専門領域の文献抄読と討議を通じて、自らの研究課題の明確化を図り、看護実践の改善・充実に向けた活用方法について考察する。				永見 大平	演習	
14回	専門領域の重要課題に関する文献検討③				専門領域の文献抄読と討議を通じて、自らの研究課題の明確化を図り、看護実践の改善・充実に向けた活用方法について考察する。				永見 大平	演習	

回	学習項目	学習内容	主担当 教 員	授業 方法
15回	専門領域の重要課題に関する文献検討④	専門領域の文献抄読と討議を通じて、自らの研究課題の明確化を図り、看護実践の改善・充実に向けた活用方法について考察する。	永見 大平	演習
16回	専門領域の重要課題に関する文献検討⑤	専門領域の文献抄読と討議を通じて、自らの研究課題の明確化を図り、看護実践の改善・充実に向けた活用方法について考察する。	永見 大平	演習
17回	専門領域の重要課題に関する文献検討⑥	専門領域の文献抄読と討議を通じて、自らの研究課題の明確化を図り、看護実践の改善・充実に向けた活用方法について考察する。	永見 大平	演習
18回	周産期の母子とその家族への看護方法の臨床応用妥当性に関する理論的考察①	クリティカルケアを受ける周産期の母子とその家族への看護方法の臨床応用妥当性について、理論的考察を深める。	永見	演習
19回	周産期の母子とその家族への看護方法の臨床応用妥当性に関する理論的考察②	クリティカルケアを受ける周産期の母子とその家族への看護方法の臨床応用妥当性について、理論的考察を深める。	永見	演習
20回	研究方法論選択のための知識やスキルの修得①	周産期母子援助に関する重要課題について関心のあるテーマを選び、量的研究の研究方法を探究する。	大平	演習
21回	研究方法論選択のための知識やスキルの修得②	周産期母子援助に関する重要課題について関心のあるテーマを選び、量的研究の研究方法を探究する。	大平	演習
22回	研究方法論選択のための知識やスキルの修得③	周産期母子援助に関する重要課題について関心のあるテーマを選び、質的研究の研究方法を探究する。	永見	演習
23回	研究方法論選択のための知識やスキルの修得④	周産期母子援助に関する重要課題について関心のあるテーマを選び、質的研究の研究方法を探究する。	永見	演習